

自ら学び続ける子 思いやりのある子 たくましい子 ～～湊でよかった～～



湊小学校だより

令和8年9月17日
白山市立湊小学校

令和8年度 学力調査の結果について

今年度の4月に、「県基礎学力調査」及び「全国学力・状況調査」が行われました。

石川県基礎学力調査 4年生の国語・算数, 6年生の理科・社会・英語

全国学力学習状況調査 6年生の国語・算数

本校の結果は、県の平均をやや上回る学年、下回る学年があり、概ね県平均と同様でした。その結果をもとに、課題や改善策等についてお知らせします。



■各教科の結果から

教科	▲課 題 ◎○ よい	*改善策・つきたい力
国語	【4年】 ▲指定された条件(指定されたことば)を書くこと。 ▲言葉をローマ字で書くこと。 ○漢字 【6年】 ▲集めた情報をもとに考えたことを条件に合わせて書くこと。 ▲複数の登場人物がいる文章で、「誰」のことかを理解すること。 ◎文章や話の構成に関わって適切なものを選択する。	*設問の文章が長い場合でも、文章の何の何を示しているのかを考える。 *設問内の条件をしっかりと確認すること。 条件の読み取り、条件に合った文を書く。 *文章を理解する上で必要となる言葉を見つけること。
算数	【4年】 ▲単位の換算をすること。(問題をよく読むこと) ▲四則計算(小数・分数を含む) $5.6 + 4$ ▲文章問題に合う式を選ぶこと。 【6年】 ▲1.5倍になっているテープ図を選ぶこと。 ◎数直線上で1を表す目盛りを選ぶ。	*語句を確認、語句を用いて説明する場を設ける。 *小数や分数の仕組みの理解。
理科	【6年】 ▲急に湯が沸き立つのを防ぐために水の中に入れる物。 ◎ふりが1往復する時間の問題。	*実験で使う物の名前、役割、用語の確認をする。
社会	【6年】 ▲指定された用語を用いて日本の位置を説明すること。 ▲資料から読み取り、情報をもとに考察し、適切に表現すること。 ○読み取ったことを、短い言葉で表すこと。	*○○の東側、～～に面している などの言い方を使って説明する機会を増やす。 *教師が資料を読み取るための視点を確認する。
英語	【6年】 ▲5つの英文のパンフレットから、条件に合うものを選ぶ。 ▲mathに合ったイラストを選ぶ。 ◎音声聞いて合う絵を選ぶ。	*問題文を読み問われていることを理解する。 *イラスト＝意味＝音＝文字がつながる練習や活動を行う。

■質問紙調査

質問に対し、

1:当てはまる／ 2:どちらかといえば当てはまる／3:どちらかといえば当てはまらない／ 4:当てはまらない の4段階で回答するものです。(時間や頻度を問う設問もあります。)

質問は6年生と4年生では、共通のもの、学年によって異なるものがあります。

〈質問項目についての結果〉



【肯定的な回答（1， 2）が100%の項目】

- ・ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがありますか。(4年の質問)
- ・「学校は好きだ」(4年の質問)
- ・人の役に立つ人間になりたいと思いますか。(6年の質問)
- ・学級では、学校生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている(6年の質問)
- ・いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。(6年の質問)

【よい傾向が見られる項目】

- ・分からないことやくわしく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか。(6年の質問)
- ・5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していましたか。(6年の質問)
- ・授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思いますか。(6年の質問96%)

【改善していきたい項目】

- ・自分にはよいところがあると思いますか。
- ・新聞を毎日・週に1回～3回程度読む(6年の質問)
- ・朝食を毎日食べる(6年65%)
- ・授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思いますか。(4年の質問68%)

肯定的な回答が100%というのは、なかなか見られることではなく、素晴らしいことだと考えます。また、肯定的な項目についても、伸ばしていきたいと思います。

湊小の児童は、自己肯定感が低い傾向が見られます。やさしく思いやりのある児童が、自分のよさに気がついていないことが考えられます。どんな小さなことでも積極的に認め合い、声を掛け合う機会を設けます。おうちでも“当たり前の姿を認める、ほめ言葉のシャワー”をどうぞお願いします。

授業で学んだことを実生活に生かすことができていると感じているのは、高学年ほど高いです。学んだことと実体験が効果的につながっているのではないかと思います。今後も、学校では体験活動や校外活動、ゲストティーチャーによる学習を大切にしていきたいと思います。